

①

タダラフィル

tadalafil

シアリス（リリー/日本新薬）錠 5mg、10mg、20mg

【警】【薬理】 バイアグラ参照

【適・用】 勃起不全：1日1回10mg、性行為約1hr前に服薬。忍容性良好で効果不十分なら20mgに増量。軽～中度肝障害：10mgを超えない。投与間隔24hr。中～重度腎障害：5mgから開始。中等度腎障害：10mgを超えない。投与間隔48hr以上。重度腎障害：5mgを超えない

【動】 T_{max}:3hr、T_{1/2}:14-15hr. 24hr反復投与で4日目に定常状態。血漿蛋白結合率94%

【代】 CYP3A4

【禁】 バイアグラ①～⑦+⑧不安定狭心症、性行為中に狭心症発現者⑨心筋梗塞3ヵ月以内

【副】 バイアグラ①～⑨参照(⑥⑦を除く)

【併禁】 バイアグラ①参照

【併注】 ①CYP3A4阻害剤(ケトコナゾール、イトラコナゾール、クラリスロマイシン、テラプレビル、グレープフルーツジュース等)：本剤のAUC、C_{max}↑②HIVプロテアーゼ阻害剤(リトナビル、インジナビル、サキナビル、ダルナビル等)：本剤のAUC↑③CYP3A4誘導剤(リファンピシン、フェニトイン、フェノバルビタール等)：本剤のAUC、C_{max}↓④α遮断剤(ドキサゾシン、テラゾシン等)：降圧作用増⑤降圧剤(アムロジピン、メトプロロール、エナラプリル、カンデサルタン等)：降圧作用増⑥カルペリチド：降圧作用増

【重副】 SJSを含む過敏症*

【副】 頭痛11.3%、潮紅5.1%、ほてり3.5%、消化不良2.3%、(海外)背部痛、筋痛、鼻閉、四肢痛

②

トリクロホスナトリウム

triclofos sodium

トリクロリール (アルフレッサ) シロップ 10%(100mg/1 mL)

【適】 不眠症、脳波・心電図検査等における睡眠

【用】 1回 1~2g(シロップとして 10~20mL) 就寝・検査前経口投与(幼小児：年齢により適宜減量)、20~80mg/kg(0.2~0.8mL/kg)を標準、2g(20mL)を超えない

【薬理】 生体内でトリクロロエタノールとリン酸に加水分解され催眠作用を呈する

【動・代】 T_{max}:1時間, T_{1/2}: 8.2時間、グルクロン酸抱合、尿中排泄、蛋白結合率 35%

【禁】 ①本剤・抱水クロラル過敏症②急性間欠性ポルフィリン症

【慎】 ①肝・腎障害②虚弱者③呼吸機能低下④重篤な心疾患・不整脈⑤小児⑥高齢者

【併注】 中枢神経抑制剤(フェノチアジン誘導体、バルビツール酸誘導体等)、MAO阻害剤、アルコール、クマリン系抗凝血剤(ワルファリン)：併用薬の作用増

【重副】 無呼吸、呼吸抑制、ショック、アナフィラキシー様症状、依存性*

【副】 過敏症、好酸球増多、白血球↓、悪心・嘔吐、胃痛、頭痛、めまい、ふらつき、運動失調、興奮、抑うつ、構音障害*

【小】 少量から投与開始、呼吸抑制、痙攣が起こることがある

③

抱水クロラール

chloral hydrate

抱水クロラール (マイラン) 散

エスクレ (久光) 坐剤 250mg、500mg、注腸用キット

【適】 [経口]不眠症、[注腸、坐剤]静脈注射が困難な痙攣重積状態、[坐剤]理学検査時における鎮静・催眠

【用】 [経口]1回 0.5～1g 就寝前、[注腸]小児 30～50mg/kg を微温湯に溶かし注腸(年齢、症状により適宜増減)、[坐剤]小児 30～50mg/kg を標準、適宜増減、1.5g を越えない

【薬理】 体内で活性代謝物のトリクロロエタノールになって作用

【禁】 ①本剤・トリクロホスナトリウム過敏症②急性間欠性ポルフィリン症③ [坐剤のみ]坐剤成分(ゼラチン等)過敏症

【慎】 **【併注】** **【重副】** **【副】** トリクロホスナトリウム参照

④

ヘレニエン

helenien

アダプチノール (バイエル) 錠 5mg

【適】 網膜色素変性症における一時的な視野・暗順応の改善

【用】 1回 5mg、1日 2~4回

【薬理】 網膜でエステル分解を受け、キサントフィルに変換して作用

【副】 羞明、光視症、下痢、軟便、頭部圧迫感 0.1~5%未満